ふじなわ喜和よしかず

2006.8
No.14

発行：ふじなわ喜和
鳥取市湖山町北4丁目812
tel&fax 0857-28-2795

とっとり情熱かわら版

●県政報告●3年間の総集編●

●教科書問題について櫻井よしこ氏と熱く語る 2004.9.11

●政治評論家森田実先生と当選のお礼参り　2003.5.26

●参議院議員荻原健司氏と教育対談後に　2005.2.3

鳥取県議会初当選

5,963票の重み

ごくろうさん

●2003.5.1　日本海新聞

藤縄喜和さん(51)
自民党
鳥取市

新県議の素顔 11人の抱負 <1>

「教育はすべての原点」「育」と位置付け、改革に全力で取り組んだ。地域の自立、産業の活性化も、「八〇年代、レーガンとサッチャーは国の再生・新生のキーワードを『教育改革から』と力説し、「教育問題では知事、執行部と真正面から議論していきたい」と抱負を語る。

市議時代に教育改革で〝壁〟を感じ、権限者と直接対峙（たいじ）できる県政の場での解決を志した。「不登校、少年犯罪、学力低下…。どれも学校と家庭だけの問題でなく、社会全体が責任を負うべき。その理念と仕組みを『教育版ISO』として鳥取から全国に発信したい」と訴える。

鳥取県議会議員に当選した新人十一人の議会活動が三十日、スタートした。いずれの議員も分権時代にふさわしい議会像を思い描き、民意を施策に反映しようと決意を新たにしている。実現を目指す施策や議会改革に寄せる思い。新議員の素顔に迫った。

教育改革に真正面から

教育がソフト面の最重要課題なら、ハード面は「やはり高速道路。地域経済活性化の一番の早道」。姫路鳥取線など高速交通網の早期実現に、人脈をフル活用して精力的に取り組む考えだ。また、合併論議が高まる中、「県から市などへの適正な権限移譲」も政治課題の一つに挙げる。

選挙戦を通じ「世代交代への期待を感じた」と振り返る一方、過去最低の投票率で送り出されたことも認識。「県民、市民に身近な県議会にしなければ。議会中継の実現も必要だが、議員が市民の声を伝える姿勢、つまり活発な政策提案こそが、市民との距離を縮める一番の方法」と話す。

●2005.9.15　日本海新聞

理念共有の政策集団

「清風」会見

県議会自民の体質批判
会派再編と離党は別

新会派を結成し、記者会見に臨む県議ら＝14日、県庁記者室

新会派「清風」（石黒豊会長）を立ち上げた十三人の県議は会派届を提出後、県政記者室で会見。県議会自民党の体質を批判し、川上義博氏支援で自民党を離党した七人を中心とした会派結成ではなく、理念を共有する仲間による政策集団としてのスタートをアピールした。

会見では石黒会長が「県議会に清らかな風を吹かす」と会派名と会派理念や会派の役員体制、九月定例県議会での代表質問は見送ることなどを発表した。自民党県連会長代行でもある山口議員は「理念が共有できる。共通の認識があるということで一緒になった。県連と県議会はセパレート」と新会派参加の理由を述べ、県議会の会派再編の動きと自民党の離党とは別問題であると強調した。

このほか、野田議員は「しがらみ、長老支配といったマッチしない部分があった。改革の努力をしてきたが受け入れられなかった」と県議会自民党の体質を批判。

鉄永議員も「私がこの会派にいることは分かりづらいだろうとは思う。（会派の）幹事長という立場で（会派の改革を）成し得なかったことの責任は重い。しかし、会派内に理念を共にする仲間がいたから努力ができたが、私一人が残って何ができるのか。動きやすい立場でやっていきたい」と苦しい胸の内を明かした。

党県連の役員だった石黒議員と県議会自民党幹事長だった鉄永議員がともに会長、幹事長として参加していることについて、石黒議員は「民主主義的手法を経て赤沢さんが公認候補になったが、川上氏を応援することを当たり前ととらえて動いていたため、川上氏を推すにあたり、県連の役職を辞め、党も離れた。正しい判断だと考えている」と答えた。鉄永議員は「藤井会長と話し合い、それなりに努力してきたが、自分に近い考えの方が新しい会派を作ることとなった。県議会自民党には責任を感じている」と前置きした上で、「自分の政治活動をしていくという観点から決断した」と述べた。

新会派の主な役員は次の通り。

会長＝石黒豊▽幹事長＝鉄永幸紀▽政務調査会長＝石村祐輔▽総務会長＝斉木正一▽名誉会長＝山口享▽副会長＝広田喜代治、中尾享（敬称略）

▲2003.7.29　高速交通体系整備・地域間交流促進調査
特別委員会調査姫鳥線志戸坂峠篠坂トンネルの進行状況調査

▲2005.12.14
篠坂トンネル貫通式

▲2005.11.30
代表質問で知事・教育長に質す

▲2005.5.31　埼玉県教育委員会及び
埼玉県立伊奈総合学園(中高一貫校)現地調査

▲2005.5.17　盛岡工業高校ラグビー部
小笠原監督にマウスガードの説明を受ける

▲しゃんしゃん祭りは毎年
市子連で子ども達と踊る

▲2005.5.17　岩手県歯科医師会勉強会に参加
(スポーツ歯学)

▲2005.7.27　湖山川水門
湖山池水質浄化現地調査

ふじなわダイアリー

2003

4月13日[日] 県議選投票日 初当選(5,963票)
4月20日[日] 米子市議選立候補者渡辺譲爾応援演説(2位当選)
5月22日[木] 初議会で教育民生常任委員会に
5月23日[金] 一期議員(自民党)県内研修(東部地区)
5月31日[土] 鳥取県ＰＴＡ協議会総会(東郷町)
6月01日[日] 鳥取市熟年ソフトボール連盟20周年記念式典(鳥取市)
6月29日[日] 鳥取市小Ｐ連研究大会(鳥取市)
7月06日[日] 前田宏県議会議長就任祝賀会(鳥取市)
7月16日[水] 鳥取市議会会派「こう風」との勉強会(鳥取市)
7月18日[金] 政治評論家森田実先生評論活動30周年記念講演会(東京港区)
7月19日[土] 自民党県連青年部青年局女性部合同大会(鳥取市)
千鳥会総会(鳥取市湖山町)
7月27日[日] ふじなわ喜和県政報告会(鳥取市湖山町)
7月30日[水] ふじなわ喜和勉強会「とっとり教育研究会」(倉吉市)
8月02日[土] 湖山町北4丁目町内会納涼祭(焼きそば担当)
8月16日[土] しゃんしゃん祭市子連で子ども達と踊る
8月29日[金]～30日[土] 日本PTA全国協議会全国大会(米子市他)
8月30日[土] 中国地区県議会議員野球大会(チーム3位、投手で活躍)
9月06日[土] 青山学院大学校友会総会(東郷町)
9月15日[日] 湖山西地区敬老会
10月11日[土] 福部小PTA人権学習会で講演
10月27日[月] 東郷の教育を語る会(東郷公民館)
11月12日[水]～13日[木]全国都道府県議会議員研究交流会(東京)
11月19日[水] 文部科学大臣表彰受賞(東京)
11月21日[金] 湖山西小「おはま会」
11月28日[金] 上杉栄一鳥取市議会副議長市政報告会
11月29日[土]～30[日] 青山学院大学清水英夫ゼミOB会(湯村温泉)

2004

1月18日[日] 湖山消防団出初式
1月25日[日] 文部科学大臣表彰受賞を祝う会
1月31日[土] 岩国市子連交流会(岩国市)
2月15日[日] 因幡地区特定郵便局長会総会
2月22日[日] 湖山西ソフトボールクラブ総会
4月08日[木] 歯科衛生専門学校入校式
5月23日[日] 湖山西地区運動会
5月26日[水]～29日[土]とっとり教育研究会勉強合宿西部(日南)・東部(若桜)
6月17日[木] 上杉市議会副議長市政報告会
7月20日[火] スポーツ振興議員連盟発足(幹事長就任)
8月16日[月] しゃんしゃん祭市子連で子ども達と踊る
9月　5日[日] 青山学院大学校友会総会
9月18日[土]～20日[月]日本政策研究センター地方議員研修会(大津市)
10月31日[日] 湖山町北4丁目運動会
11月　1日[月] 新鳥取市合併記念式典
11月　6日[土] 常田たかよし農林水産副大臣を祝う会
11月13日[土] 鳥取県教科書改善協議会 山谷えり子参議院議員講演
11月19日[金] 米子市加茂小学校PTAで講演
11月25日[木] 青年議員連盟研修会 古屋圭司衆議院議員・藤岡信勝教授講演
12月18日[土] 千鳥会総会（鳥取市湖山町）

2005

1月10日[祝] 若桜町のみなさんと語る会(協働について)
1月30日[日] 湖山西自治会総会
1月31日[月] 鳥取市議会会派「こう風」と勉強会（鳥取市）
2月20日[木] 湖山西体育会表彰祝賀会
4月23日[土] 鳥取市こども会連合会総会　会長に就任
5月01日[日] 鳥取市こども会連合会統合調印式
5月14日[土] 東部海友会総会
5月21日[土] 鳥取県水防訓練(千代川)
5月30日[月] とっとり教育研究会(倉吉市)
6月04日[土] 第5回湖山池水質浄化100人委員会現地調査
6月29日[水] 6月議会において総務警察常任委員会・高速交通体系特別委員会の各副委員長に就任
7月05日[火] 智頭町議選で国岡智志候補の応援（2位当選）
7月15日[金] 鳥取大学農学部附属三センター（菌類きのこ遺伝資源研究センター他）設置記念式典
8月06日[土] 湖山町北4丁目町内会納涼祭(焼そば担当)
8月08日[月] 道徳教育研究大会(米子市)
8月16日[火] しゃんしゃん祭市子連で子ども達と踊る
8月27日[土] 鳥取市小P連研究大会(鳥取環境大学)参加
8月28日[日] 湖山町防災フェア(湖山西小学校)参加
9月14日[水] 県議会新会派「清風」に参加
9月18日[日] 湖山西地区敬老会
9月25日[日] 明日の日本を考える会設立総会
10月08日[土] とっとりきのこまつり
10月15日[土] 市子連子どもフェスティバル
10月22日[土] 湖山西公民館まつり
10月23日[日] 岡山国体バスケットボール応援
10月31日[月] 設備研究会講演
11月08日[火] 岩美町長選 榎本町長応援(当選)
11月13日[日] 日本PTA中国ブロック大会(倉吉市)
11月23日[水] 因州和紙協同組合講演(佐治町)
11月27日[日] 用瀬町地子連設立総会
11月30日[水] 11月定例県議会で代表質問
12月03日[土] 米里自民党支部で講演
12月14日[水] 姫鳥線志戸坂峠トンネル貫通式

ふじなわ喜和まで
あなたの声を
お届けください

湖山町北四丁目
町内会納涼祭で
そば焼きに汗だく

政財界 耳より話

●2003.6.22　日本海新聞

○…「重ねてご忠告申し上げる。危うさを感じさせない知事になってほしい」―。二十日の鳥取県議会で、新人の藤縄喜和議員（自民）が片山知事に自省を求めた。

先日、三朝町の林道工事で県職員の完成検査調書偽造が明るみに出た。知事は「執行部を責めていただくのは結構だが、議会も見落としていた」と答弁。これが藤縄議員の追及の発端となった。

議会の決算審査システムは予算執行のチェック機能に重要な役割を果たす。だが、小規模工事の一現場で起きた今回の不正を暴くのは、内部告発でもなければ不可能に近い。議員の多くが「責任転嫁」を感じた。

知事おごることなかれ

「『執行部のミスで申し訳ありません』と、そこまでで止める事案だ」。『東芝はテロ支援国家のよう』『夜逃げ同然の合併』『ごみのような案』といった昨今の〝片山語録〟と重ね合わせ、藤縄議員は「権力者として危うさを感じる」と進言した。おごることなかれ。議場に同調の空気が漂った。

●2003.6.21　日本海新聞

今後は副作用小さく

東芝発言 知事が反省の弁 県議会

鳥取県議会は二十日、本会議を続開して一般質問を継続した。答弁の中で片山善博知事は、全国に波紋を広げた東芝との取引見直し検討発言について「関係者の皆さんに多少の不安、戸惑いを与えてしまったことはぜひご容赦願いたい。これからこういうことがあっても、できるだけ副作用を小さくするよう気を付けたい」と述べた。

自民党の藤縄喜和（鳥取市）、石村祐輔（東伯郡）、倍の伊藤保（東伯郡）の三議員が質問した。

藤縄議員は、西室泰三・東芝会長が議長を務める地方分権改革推進会議への知事の批判が、「三位一体改革での地方の立場を全国にアピールした成果を認めた上で「（知事発言への）否定的メールが七割を占め、県産品の不買を実施する、県への観光を取りやめるというものもあった。深刻に受け止めるべきではないか」と見解を求めた。

片山知事は「せっぱつまったところでの発言にはどうしても副作用がある。鳥取県を守ろうと発言するとき、無難なことしか言わないのでは結局何も言わないことになり、地域の存在感もなくなる」と理解を求めた。

その上で「私への批判はいいが、他へ批判が及ぶことがないよう、今後はできる限り注意したい」と語った。